

令和6年度 7 月 定例教育委員会会議録

令和6年7月23日(火)

山梨市教育委員会

令和6年度7月 定例教育委員会 議事録

令和6年7月23日(火)午前10時から、山梨市役所401会議室に召集された。

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 前回議事録の署名
- 4 協議事項
- 5 承認事項
- 6 報告事項
- 7 連絡事項
- 8 閉会

○出席者

教育長	嶋崎 修
教育長職務代理人	天野 有紀
教育委員	窪田 新治
教育委員	原 喜雄
教育委員	鈴木 徹
教育委員	相沢 季里

○事務局職員出席者

学校教育担当 教育監	小串 吾郎
学校教育担当 指導主事	内藤 健
学校総務担当 リーダー	大畠 芽久美
学校総務担当(議事録作成者)	小田切 咲紀
学校教育担当 リーダー	前嶋 裕樹
学校管理担当 リーダー	高原 あゆみ
生涯学習課 課長	武井 学
生涯学習担当 リーダー	廣瀬 ひろみ

4 協議事項の内容

教育長

議事に入る。(1) つつじ幼稚園の在り方について、説明をする。

教育長

資料I に基づき説明

県内での国公立幼稚園は山梨大学付属幼稚園と山梨市のつつじ幼稚園の2園のみ。

このまま何もしなければ入園児減少とともに廃園ということになってしまう。

併設的な位置関係の加納岩小学校と幼小連携カリキュラムを構築し、効果的・先進的な幼小連携の在り方について検討を図りたいと考えている。このことについて、なにか意見等があるか。

原委員

研究協議会を立ち上げて来年度から始めるということか。

教育長

今年度に行う来年度の入園児の募集の段階で、幼小連携を進めていくという話をする予定である。

原委員

ということであれば、来年度行うカリキュラムを今年度中に決定しておくということか。

教育長

ここで教育委員の承認を得られれば具体的に動いていく。

天野委員

学校訪問をしても、学校入学時に幼稚園や保育園からの情報が不足しとまどっている先生方がたくさんいる様子だった。こういう連携が進んでいって1つのかたちとしてより他のところと連携が進んでいくといいなと思った。教科に限らず、給食の時間や休み時間など、先生方に負担のないかたちで交流があるとよりよいと思う。

鈴木委員

すごくいいアイデアだと思う。一人っ子が増えている中で小学生がお兄さんお姉さんの役割を担い、先生方が一貫校のかたちで長い間サポートできるのでいいのではないか。特別支援の子たちが増えてしまう可能性があるかと思うが、授業等どう組み立てていくのか？

教育長

そのあたりは課題として具体的に検討していきたい。

窪田委員

このまま入園児童減少ということであればいずれ廃園の方向になってしまう。せっかく取り組むのであればいかに保護者にアピールできるかということをしっかり考えて、児童数を確保できるようにして欲しい。

教育長

最低でも10人はコンスタントに確保できるよう、魅力ある幼小連携プログラムにしていかななくてはと思う。

相沢委員

素晴らしいアイデアだと思う。学校種が違う交流というのはすごく価値がある。保護者にとってもいいと思う。これから課題も生じるだろうがそれ以上の効果があるのではないか。

教育長

では、この提案については教育委員会です承されたということによろしいか。

教育委員

了承した。

教育長

日下部小学校で新入生の学級編成を遅らせて5月末に行うということを試みたが教育的効果を感じている。

過日2回目の学校の在り方検討委員会を開催し、市全体で学校の児童生徒数の増減

を認識しながらどう対応していくかということで、色々前向きな意見がでた。

教育監

児童生徒数の減少によって、数だけで安易に統廃合ということではなく、市全体のことをみんなで考えていきたいと思いますということで第3回目まとめに入ろうと思う。

教育長

地域によって意見が割れたり、反対意見が出たりということが今のところなく、思ったよりも取り組みが先行して行われていく感じである。

(2)教科書採択の最終決定については、非公開案件なので一番最後に協議する。

続いて、(3)その他であるが、一学期が終わり、学校訪問も含めてここで協議すべき内容があればお聞かせいただきたい。

教育委員

特になし。

5 承認事項

(1)山梨市の社会教育について

生涯学習課長 説明

教育長

何か質問等あるか。

教育委員

特になし。

(2)その他

教育長

何かあるか。

教育委員・事務局

特になし。

6 報告事項

(1) 通学路の安全点検について

学校教育担当 L 説明

教育長

何か質問等あるか。

天野委員

大野のマンモス共撰所のところの横断歩道について、通学路を、そこを渡らずにすむようにはできないのか。

学校教育担当 L

ルートの変更をして欲しくないという要望が親からも子どもからもあがっているためルートは変更できないとのことである。

窪田委員

2年くらい前に岩手小の卒業式に出席した際に、区長から学校からも区からもお願いしているのに改善されない箇所があるということを何度も言われた。問題としてあげられている箇所の対応状況について区にもお知らせしていった方がいいのではないか。

学校教育担当 L

学校から区へお知らせするルートがあるか確認をする。保護者にお知らせするという意味でホームページには掲載しているが、区へもお知らせした方がいいと思うのでお知らせの仕方について検討する。

教育長

継続とあるものについて、取組みをしている最中なのか、手がつかないのか、前年からの内容がわかるようにして掲載した方がいい。

原委員

日下部小の15と16はダブリではないか。

学校教育担当 L

確認する。

教育長

優先順位はあっているか？

学校教育担当シ

通し番号の誤りである。

教育長

学校ごとに危険箇所と挙げられている箇所数にばらつきがある。その辺のばらつきは大丈夫か？課題として検討した方がいい。

他に何かあるか。

教育委員

特になし。

教育長

(2)その他 何かあるか。

原委員

部活動の地域移行について、担当者も代わっているので進捗状況を教えてもらいたい。

生涯学習課長

2日後に3校長が集まり、方向性の確認をすることになっている。

教育長

教頭会において地域移行についての考えについてヒアリングを行った。

意見としては、クラブチームとしての考えを主にしていきたい。部活動に熱心な先生については、有償ボランティアとして活用していきたい。

問題は指導者と予算の確保である。

原委員

南中と北中の野球は合同チームであるという話を聞くともう限界なのかなと思う。

教育長

アーバンスポーツやイースポーツのようなものも取り入れていいのではという意見が学校運営協議会の中で出された。子どもたちが休日も行くとところがない、やることがないというようにならないようにということを基本コンセプトとしたい。

鈴木委員

指導者の選定がすごく大変だと思う。指導者のレベルも違うので、例えば A 市の

指導者のレベルが高くてB市が低いとなると、A市の方にいってしまうということが起こってしまう。今後は保護者と子どもがチームを選ぶというかたちになり、色々な課題が出てくると思う。子どもたちがスポーツを継続していく生涯スポーツという意味では教育としてもすごく意味があると思うので、先駆けて山梨市から発信出来たらいいと思う。

教育長

やはり広域で考えていかななくてはならないと思う。次回もう少し議題として取扱いたい。

窪田委員

山梨市は全入だが県下では全入にしている学校が少なくなっている。やりたくない子については放課後の自分の生き方だったり各家庭の方針だったり違うこともできるのもう全入にしない方がいいのではないかな。先生方の意識改革も必要だと思う。

鈴木委員

部活の地域移行については、文化局のものも含まれるのか。

教育長

吹奏楽くらいは含まれる。
次回にもう少し掘り下げていきたい。

7 連絡事項

(1) 教育委員の予定について

小田切・学校総務担当 L 説明

(2) 県外交流事業について

生涯学習課長 説明

(3) その他

4 協議事項

(2) 教科書採択の最終決定について

非公開事案

教育長

教科用図書採択において協議決定された採択案のとおりということによろしいか。

教育委員

よろしい。

以上で議事を終了する。